

木と向き合う

指導林家 森下一淑



私は昨年、農林事務所
の林業担当者から指
導林家へ推薦のお話を
いただきました。それ
は、農林漁業の振興を
目的に各分野で活躍し
技術や文化の伝承を期
待される農業経営士、
青年農業士、指導漁業
士、青年漁業士、指導

林家、青年林業士、農
山漁村ときめき女性を
認定するものです。突
然の話にびっくりし、
何より特別な実績もな
いことで戸惑ってしま
いました。それでも既
に指導林家を経験され
ている林業研究会の先
輩方に、やってみては



安全確認 チームワークが第一

と背中を押
され、推薦
をお受けす
ることにし
ました。
振り返っ
て長年所属
している林
業研究会で
は、以前は、
いい木を育
てる、育林
に力を注い
ていました

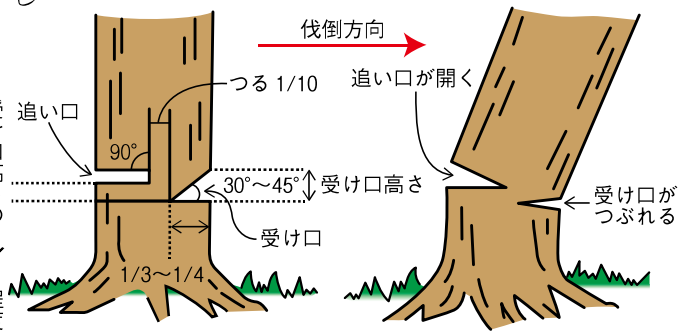
が、時代の変化に伴な
い、自ら木を伐り出す
技術の習得へと研修内
容が変わっていきまし
た。その中には、数人
でチームを組んで行な
う作業も多く、意志疎
通を欠けば重大な事故
に繋がってしまいます。
改めてチームワークの
大切さも学ぶことがで
きました。

修のお手伝いをさせ
ていただいています。
人に説明したり、教
えたりは苦手な私で
したが真剣に聞いて
くれる研修生と向き
合うことで教える側
も真剣に取り組まな
ければいけないと考
えるようになりました。
そんな中、昨年始
まった木の駅事業で、
安全技術講習会を担
当することになりました。



木の駅事業 間伐材の積み込み作業

た。参加者
は、実際に
作業されて
いる方から
初心者の方
まで様々で
したが、受
け口、追い
口、ツルと
いった基本
を実技を混
じえた説明
に、熱心に
耳を傾けて



た。参加者
は、実際に
くれました。後に集荷
が無事故で終了した事
を聞き、ひと安心しま
した。講習会が安全に
繋がっているのなら役
目を果たせたのかなと
思っています。

今、森林や林業が見
直されてきています。
その中で少しでもお役
に立てれば幸いです。

● 概ね10年以上の林業
経験を有し、将来と
も地域林業を先導す
る中核的な存在とな
ると認められる者

● 満45歳以上65歳未
満の者

● 県内の指導林家は現在
平成27年度までの認定
数38名(現役数35名)

◎指導林家

(創設平成17年)

模範となる林業経営を
行い林業後継者の育成
に指導的役割を果たし
ている者。

◆認定要件

- 地域の模範と認めら
れる林業経営を行っ
ている者
- 人格・見識が優れて
いる者
- 林業後継者の育成指
導に理解があり、積
極的に指導活用がで
きる者